

手をいれれば花は咲く 3カ年の復活計画に着手

あやめ保存会は、市や明科高校の生徒と協力して令和元年度から3年間の計画で公園内のアヤメの復活に取り組みました。保存会会長の柴龍雄さんに、今回の復活計画について話を聞きました。



あやめ保存会
会長 柴龍雄さん(91)

長年の管理から

あやめ公園が完成した頃から約30年間、公園のアヤメの管理に取り組んでいます。

アヤメの管理で一番大切なことは、株分けと土の入れ替えを3年周期で行うことです。それを欠かさなければ、花は必ず咲いてくれます。

人手不足と高齢化

株分け作業は花が散った後の7月から8月の炎天下で行う大変な作業となるため、多くの人手が必要です。しかし、ここ数年は、私のほかに数人で管理を行っている状況です。そのため、株分け作業に手が回らない状態が続いてしまったことで、だんだんと花の勢いがなくなっていました。その状態を見るのは大変辛かったです。

復活に向けた3カ年計画

この状態を何とかしようと、地元の方や市と協力し、公園内を3区画に分けて1区画ずつ1年ごと植え替えを行う方法で花の復活に取り組みました。重機を使って成育の基盤となる土の入れ替えをし、肥料を入れた畝を作り、同時に株分けを進めながら苗を植える大規模な作業を行いました。

このサイクルを継続していけば、持続可能な管理体制になると思います。

あやめ公園の未来に期待

今回の作業で管理する方法が決まったので多くの人が携われる体制が整いました。これからもきれいな花が見られるよう、保存会のメンバーやボランティアの募集などをして、みんなでこの公園を守る体制をつくる事が今後の課題と考えています。



私たちも参加しています！

株分け・苗を準備します



令和元年 計画着手前



土の入れ替え、畝づくり



復活計画のあゆみ



1年目 令和2年6月



2年目 令和3年6月



令和4年4月 開花を待つアヤメ

花が咲く6月が楽しみ！

地域を超えてつながるアヤメの輪

3年間の作業で新しく植えた苗は、池田町会染の相道寺地区や、国内有数のアヤメ園として知られる新潟県新発田市の五十公野公園から約10品種を譲り受けました。

本年は、3カ年計画の最終年に植えられたアヤメが開花します。3年間の努力の成果として公園いっぱいアヤメが咲きそろいます。見ごろは6月中旬から下旬の見込みです。

INTERVIEW



新発田市
維持管理課公園係
係長
酒井良一さん

五十公野公園・あやめ園の紹介

五十公野公園は、都市公園百選に選ばれています。あやめ園は、昭和53年に整備され、来園者に鑑賞を楽しんでいただける取り組みや維持管理を市直営で行っています。現在では300品種、60万本が咲く日本四大あやめ園と称される観光拠点となっています。

花の管理で苦労していることは？

新芽が伸び始めた頃に発生する病害虫対策に苦労しています。また、来園者に楽しくハナショウブを鑑賞していただくために、各品種の色や文を意識した見せ方を工夫しています。

安曇野市へメッセージ

安曇野市のあやめ公園とは平成元年からアヤメの苗の交換を通じて交流を行っています。苗交換から始まったお付き合いが、これからも続き、あやめ園の成長とともに、安曇野、新発田両市の皆さんの交流が深まることを期待しています。



新潟県新発田市五十公野公園あやめ園

苗の交換を通じた交流をしている五十公野公園を管理する新発田市維持管理課の酒井良一さんに話を聞きました。

新発田市マスコットキャラクター「アスバラ君」

新発田市観光協会マスコットキャラクター「しばたん」

3年ぶりに開催！ 第38回安曇野明科あやめまつり

6月18日(土)・19日(日) 午前9時～午後4時

内容 フォトコンテスト、特産品販売など。詳細はHPをご覧ください。

ホームページ
園地づくり課明科地域担当
☎71・2000 ID 91635

コロナ禍でも楽しんでいただける屋外でのイベントです。復活しつつある花を見にお出かけください！

あやめまつり実行委員会
実行委員長 岩淵義明さん(左)
副実行委員長 岩垂直次さん(右)

